

■ 研究ノート

米国テキサス州の障害者優先調達の実践と現状

岸 道雄*

【要旨】

米国テキサス州における障害者優先調達の歴史は古く、1978年に開始され、現在に至っている。「障害者から購入するプログラム」あるいは WorksWonders プログラムという名称である。競争入札の手続きを経ることなく、コミュニティ・リハビリテーション・プログラムと呼ばれる非営利組織に雇用されている障害者によってつくられる製品や提供されるサービスをテキサス州政府機関に原則として購入することを義務付けている。本プログラムを通じて、多くの障害者が外部の競争的統合雇用へ再就職するなど、本プログラムから日本の障害者優先調達のあり方いくつかの示唆を得ることができる。

キーワード：米国，テキサス州，障害者優先調達

I. はじめに

日本において障害者就労施設で就労する障害者と在宅就業障害者等の自立の促進に資することを目的として2013年4月1日に障害者優先調達推進法施行された¹⁾。本法に基づき、中央官庁等の国の政府機関および地方公共団体は毎年度、次年度の障害者就労施設等からの物品・役務の調達方針を策定し、翌年度には前年度の調達実績をホームページ等で公表している。日本における障害者優先調達の取り組みは2022年度時点でまだ10年目であるが、米国において障害者優先調達の歴史は古く、McCrudden (2007)によると、1938年に米国議会において「視覚障害者により作られた製品および他の目的のための委員会を設置する法 (Act to create a Committee on Purchases of Blind-made Products, and for other purposes)」が成立し、これは障害者雇用のために公共調達を用いる法律であった²⁾。岸 (2020) で示したように、この法律は、当時、増加しつつあった非営利保護作業所 (Sheltered Workshops) を利用する仕組みを取り入れ、視覚障害者によって作られた製品を連邦政府機関による購入を義務付けるものであった³⁾。この法律の主な支援者だった2人の議員、ロバート・ワグナー (Robert F. Wagner) 上院議員とキャロリン・オデイ (Caroline O'Day) 下院議員の名前から、ワグナー・オデイ法 (Wagner-O' Day act) と呼ばれたが、その後、ジャヴィッツ上院議員の尽力により、ワグナー・オデイ法は、重度障害者 (other severely handicapped) を対象に含め、製品に加えてサービスも連邦政府に優先調達を求める内容とし、1971年にジャヴィッツ・ワグナー・オデイ法 (Javits-Wagner-O'Day (JWOD) Act) に改定された。その後、ジャヴィッツ・ワグナー・オデイ法に基づく優先調達プログラムは、2006年にアビリティワン・プログラムへ名称変更され、現在に至っている⁴⁾。

岸 (2020) において、米国連邦政府の障害者優先調達の仕組みと現状について明らかに

* 立命館大学政策科学部 教授

したが、米国州政府や地方政府の障害者優先調達の仕事や取り組みについて日本では文献、資料等でほとんど報告がなされていない。このことを踏まえ、本稿は、米国テキサス州の障害者優先調達を一つの事例として取り上げ、その仕組みについて明らかにし、日本への示唆を探ることを目的とする。

本稿の構成は次の通りである。まず、米国州政府の優先調達の概要について示す。次に、テキサス州の「テキサス障害者購入プログラム(Texas Purchasing from People with Disabilities program)」(別名称 WorksWonders プログラム)の仕組みと現状について明らかにし、最後に、テキサス障害者購入プログラムから得られる日本への示唆について考察を行う。

II. 米国州政府の公共調達における障害者優先調達の仕組みと現状

II.1 米国州政府の障害者優先調達の仕組み

Krepicio K. and Agrawal J. (2013) によると、少なくとも全米の半数の州が、「優先購入(Preferred Purchasing)」あるいは「州使用(State Use)」プログラムと呼ばれる「優先ソース(Preferred Source)」プログラムを持っており、歴史的にこうしたプログラムは、2つの雇用上、不利なグループ、すなわち、①刑務所に服役している人や州の矯正施設にいる人、もしくは②主に発達障害、精神障害や視覚障害を持つ障害者の雇用機会を提供するために設計されたとのことである⁵⁾。ただし、全米規模の「州使用プログラム協会(State Use Programs Association, Inc. (SUPRA))」のウェブサイトを示されているビジョンには、「雇用を通じて障害者の便益となる州使用プログラムを代表し、推奨し、創設する手助けをすることにより、州使用プログラムを推進する声となること」と障害者のみについて書かれており⁶⁾、この協会のメンバーは、コネティカット、デラウェア、フロリダ、ジョージア、インディアナ、ルイジアナ、メアリーランド、ネバダ、ニュージャージー、ニューメキシコ、ニューヨーク、オクラホマ、オレゴン、ペンシルバニア、テキサス、ウェスト・バージニア、ウィスコンシンの17州の18機関・団体となっている。カンサス州等この協会のメンバーではない州もあり、National Council on Disability (2018)によると、全米50州のうち、障害者を対象とした州使用プログラム(State Use Program)は47州に存在している⁷⁾。州使用プログラム(State Use Program)は障害者を対象にしたプログラムとみられ、服役囚を対象とした優先調達については別の名称が用いられていると考えられる⁸⁾。Krepicio K. and Agrawal J. (2013)において、障害者の州使用プログラムは、障害者への職業訓練と雇用プログラムを実施している組織に対して設定され、非競争的な優先調達をオファーし、このプログラムを通じて物品やサービスが州の政府機関、教育機関、郡や地方政府によって購入されうるという仕組みであり、通常、そうしたプログラムへ非営利組織が参加するためには州政府機関による一定基準に基づく資格審査と認証が行われるとしている⁹⁾。

II.2 テキサス州の障害者優先調達の仕組みと現状

(1) 概要

障害者優先調達の州使用プログラム(State Use Program)を持つ州の中でも歴史が古く、非常に示唆に富む取り組みを行っているテキサス州の「テキサス障害者から購入するプロ

グラム（Texas Purchasing from People with Disabilities program, 以下 TPPD）」について紹介する。

上記の通り、一般的に「州使用プログラム（State Use Program）」と呼ばれている TPPD は、広く WorksWonders プログラムとも呼ばれ、障害者が居住しているコミュニティにおいて障害者に安定した職業リハビリテーションを提供することにより、障害者の自立に向けた移行を支援し、障害者に直接の便益をもたらすものとし、この訓練により、有意義な雇用と公正な賃金につながり、それが障害者の自立を推進することになるとしている¹⁰⁾。テキサス労働力委員会（Texas Workforce Commission, 以下 TWC）の管轄で、コミュニティ・リハビリテーション・プログラム（Community Rehabilitation Program, 以下 CRP）と呼ばれる非営利組織において雇用されている障害者によって作られる物品や提供されるサービスをテキサス州政府機関と行政小区域（Political Subdivision）のテキサス州内の郡、市、学区や州立大学等が優先的に購入仕組みである¹¹⁾。このプログラムは、テキサス人的資源コード（Texas Human Resources Code）の Title 8、Chapter 122 に基づいており、TPPD（WorksWonders プログラム）の目的の一つとして、「障害者が有用かつ生産的な雇用活動に従事することにより、最大限の個人的自立を達成することを奨励し、支援する州の政策を進めること」としている¹²⁾。すなわち、Davis, R., Kouliavtsev, M., and Scanlan M. (2022) や Texas Workforce Commission (2017) が示しているように、ただ単に障害者を雇用することではなく、職場でのスキルと能力を発展させることを手助けし、最終的にはこのプログラム外の競争的統合雇用（Competitive Integrated Employment）を得ることができるようにすることを目的としている¹³⁾。

本プログラムは、1978年にテキサス州議会によって立法化され、元々は視覚障害者向けの特別な労働契約を通じて職業リハビリテーションを推進することおよび、州知事が任命する監督機関として「テキサス障害者購入委員会（Texas Council on Purchasing from People with Disabilities (TCPPD)）」の設置を規定し、本プログラムの日々の業務の実施とテキサス州の視覚障害者と有意義な雇用機会をつなげるための中央非営利機関（Central Nonprofit Agency）として、TIBH Industries, Inc.（Texas Industries for the Blind and Handicapped）を指定した¹⁴⁾。本プログラム開始の初年において、TCPPD と TIBH は障害者により作られた製品を州政府機関に販売することにより、22名の障害者の雇用を確保したとしている。1981年に法改正が行われ、視覚障害者のみでなく、すべての障害者が本プログラムの対象となった¹⁵⁾。

(2) 現在の体制

1995年の州法改正により、「テキサス障害者購入委員会」は廃止され、TPPD、すなわち、WorksWonders プログラムの管理監督の業務は2015年9月からすべてテキサス労働力委員会（TWC）へ移管された。テキサス労働力委員会（TWC）は、①公会計監督庁（Office of the Comptroller of Public Accounts）の支援を受けて価格の見直しと新たな製品とサービスを承認する、②CRPの認証と再認証を行う、③新たに設置された助言委員会からの意見とともに、プログラム・ルールの見直しを行う、④中央非営利機関であるTIBHを監督する、⑤13人の構成員からなる助言委員会のサポートを行うこととなった¹⁶⁾。なお、この2015

年の法改正においても、次の4点についてはそれまで通り、維持されることとなった。① WorksWonders プログラムを通じて販売が認められた製品とサービスについて、競争入札の手続きを経ることなく、州政府機関にとって購入は義務である。② 州政府機関が WorksWonders プログラムの製品とサービスを購入しない状況がある時には例外レポートの提出が必要とされる。③ 市、郡、特別区の行政機関等は WorksWonders プログラムの製品とサービスを購入することができる。④ テキサス労働力委員会（TWC）は、WorksWonders プログラムの現行のマーケティング、カスタマー・リレーションズ、訓練、契約管理のため、中央非営利機関として業務を行う組織と契約することができる¹⁷⁾。

上記の通り、テキサス州においてテキサス州政府機関にとっては WorksWonders プログラムの製品とサービスの購入は、競争入札を行うことはせず、義務であるが、量、質、納期の時間、ライフ・サイクル・コスト、テスト/検査の5つの基準に基づき、WorksWonders プログラムの製品とサービスを購入しない例外的な対応は認められている。量に関しては、WorkQuest が最低購入量を設定し、州政府機関が必要とする量を上回っている時、あるいは WorkQuest が提供できる量を州政府機関が必要とする時である。質については、WorkQuest の製品やサービスの質が具体的なパフォーマンス基準に達していない時である。納期に関しては、WorkQuest が連絡を受けた後、求められる納期までに製品の納品ができないもしくはサービスを提供できない時である。ライフ・サイクル・コストについては、購入する州政府機関が業務上の必要性を満たすにあたって WorkQuest の製品あるいはサービスが費用対効果において最も優れていないと判断する場合である。テスト/検査に関しては、WorkQuest の製品あるいはサービスがテストもしくは検査され、州政府機関のニーズを満たさない時である。もし WorksWonders プログラムで提供可能な製品あるいはサービスをプログラム外の業者から州政府機関が購入する場合は、こうした5つのうちのどの例外理由にあたるかについて文書で証明しなければならないことになっている¹⁸⁾。なお、2021年度からテキサス労働力委員会は、顧客満足度を確かなものとするために、テキサス州立大学と製品の質に関して新たな契約を結んだとのことである。WorksWonders プログラムにとって最高の品質基準を維持するために、同大学の工学部が第三者機関として新規および既存の製品の質をテストすることになっている¹⁹⁾。

(3) WorkQuest について

WorksWonders プログラムにおいて極めて重要な役割を担っているのが、中央非営利機関（Central Nonprofit Organization）の WorkQuest である。テキサス人的資本コードの Title 8. Sec. 122.019 によると、中央非営利機関は、① コミュニティ・リハビリテーション・プログラム（CRP）を募集し、適切な製品とサービスの申請書の作成と提出を支援する、② CRP 間で注文を分配する、③ CRP との契約に関わる一般的な管理を含む、本プログラムの日々の運営の管理とコーディネートを行う、④ 障害者のためにより多くの援助付き雇用の機会を広めるようにする、⑤ 人種的マイナリティ、女性、あるいは障害者のメンバーによって管理運営されている CRP と CRP の資格認証を行うプロセス中である CRP を募集し、支援するとしている。さらに、中央非営利機関のサービスには販売促進（Marketing）と販売促進サポートを含むとし、具体的には、① 契約の勧誘や交渉に関して CRP への支援、② 消費者

に直接マーケティングを行うこと、③製品とサービスに関する研究開発、④本プログラムを推進するための PR 活動、⑤教育・訓練などが挙げられている²⁰⁾。すなわち、需要側（購入者であるテキサス州政府機関等）と供給者側（CRP）の間に立ち、発注、販売の全体を管理しており、それだけでなく、CRP への職業訓練の支援も行っている。また、製品やサービスに関して購入者であるテキサス州政府機関等の個別のニーズや要望に合わせた製品やサービスの提供を行うよう CRP との調整の役割も担っている²¹⁾。

CRP への支援に関して、金銭的支援と CRP における障害者の競争的統合雇用へ向けての支援がある。金銭的な支援については、後述する CRP の WorksWonders プログラム参加のための資格認証や障害者へのキャリア開発訓練に使用することができる補助金（Funding and Assistance Grants）を提供しているとのことである²²⁾。また、個々の CRP は、障害者が個人の人々の雇用目標をかなえるため、および障害者の人々の希望とスキルと CRP で行う仕事とマッチングさせるために、雇用している障害者一人ひとりの「その人を中心としたプラン（Person-Centered Plan）」を作成することが求められている。テキサス労働力委員会は WorkQuest と協力して、「従業員中心の職業評価プラン（Employee-Centered Vocational Assessment Plan）ツール」を開発し、障害者の希望、スキルと CRP で行う仕事とマッチングさせることにおいてどのような支援が必要かを特定するために使われるとのことである²³⁾。さらに、障害者の競争的統合雇用を促進するために、テキサス労働力委員会、WorkQuest および、ある CRP は、コミュニティに存在する企業と競争的な賃金を得ることができる職業訓練を実施する契約を締結し、そうした企業として、HEB（スーパーのチェーン会社）、Walgreens（薬局のチェーン会社）、Doubletree Hotels が挙げられている²⁴⁾。

(4) コミュニティ・リハビリテーション・プログラムについて

WorksWonders プログラムにおいて、実際に障害者を雇用し、製品を作り、あるいはサービスを提供するのがコミュニティ・リハビリテーション・プログラム（CRP）である。テキサス州人的資本コード（Human Resources Code）Title8, Sec. 122.002 によると、CRP は「政府もしくは非営利民間プログラムで、一定の基準に基づき運営を行い、かつ障害者が報酬のために製品を作る、あるいはサービスを提供する」としている²⁵⁾。プログラムという名称ではあるが、WorksWonders プログラムにおける CRP はすべて非営利組織である。WorksWonders プログラムへの CRP の参加に関しては、テキサス管理コード（Texas Administrative Code）において非常に詳細な資格認証基準が設けられており、そうした基準を満たすことにより、テキサス労働力委員会による認証を得ることができる。また、一度、認証を受けると3年毎に再認証を得なければならない。多くの資格認証基準の中で、代表的なものが、CRP において製品の作成あるいはサービスの提供のための直接労働の少なくとも75%は障害者の労働によるものでなければならないというものである²⁶⁾。これは、岸（2020）で示した米国連邦政府の障害者優先調達プログラムであるアビリティワン・プログラム（AbilityOne program）の製品やサービスについて、ジャヴィッツ・ワグナー・オデイ法により、直接労働間の少なくとも75%が視覚障害者あるいは重度障害者によって製造もしくは提供されなければならないということと同様である²⁷⁾。

WorksWonders プログラムに参加している多くの CRP において、障害者の長所と能力に

合致する競争的雇用を確保するために、職業リハビリテーションと再就職支援（Outplacement Services）が行われている²⁸⁾。たとえば、2021年度において、WorksWonders プログラムに参加した119のCRPのうち、95のCRPが、また2022年度においては、同様に120のCRPのうち、82のCRPが職業リハビリテーションと再就職支援を提供したとのことである²⁹⁾。こうしたサービスには、視覚機器適応訓練、薬物あるいはアルコール依存についてのカウンセリング、教育訓練、ファイナンシャル・プランニング、高校と同等の予備的コース、面接のコーチング、ジョブ・コーチング、就職斡旋サービス、仕事のスキルの訓練、援助付き雇用のサービス等が含まれるがこうしたサービスのみ限定されないとしている³⁰⁾。こうした取り組みの結果として、2021年度において、1,024人、2022年度において905人の障害者が外部の競争的統合雇用という形で再就職したかもしくはそのCRP内で昇進し、WorksWondersプログラムの直接労働から外れることができたと報告されている³¹⁾。

(5) 製品とサービスについて

WorksWonders プログラムにおいてCRPで障害者がつくる製品は多様であり、それらはWorkQuestのウェブサイトを確認することができる。製品は、椅子などの家具、洗剤、タオル、ブラシなどの清掃関連用品、車椅子、マスク、手袋などの医療関連用品、ボールペン、封筒などの事務用品・学校用品、DVD、CD、フラッシュメモリーなどのコンピューター関連用品、ポータブル・ウオーター・クーラー、安全ベスト、シャベルなど屋外で使用される様々な製品、ミネラルウオーター、スパイス、調味料などの加工食品、ドアに組み込まれる鍵、ジャケット等の衣類など非常に多岐にわたり、WorkQuestのウェブサイトで見られている品数は、2,471品目に上る³²⁾。

サービスに関しては、害虫駆除、洗車、窓のクリーニング、公園のメンテナンス、芝刈り、清掃、解体、荷物配送などこちらも非常に多様であり、さらに人材派遣サービス（Temporary Staffing Services）も行っている。

WorksWondersプログラムのパンフレットには、上記のテキサス州政府機関にとって、WorksWondersプログラムの製品とサービスの購入が義務であることについて、テキサス州政府機関は物品やサービスを購入する前にまずWorkQuestのウェブサイトをチェックし、もし入手可能であるならWorkQuestから購入することが求められているとし、TPPD（WorksWondersプログラム）は地方政府にも本プログラムを通じて製品とサービスを購入することを奨励（encourage）しているといった記述がなされている³³⁾。

なお、WorksWondersプログラムのすべての製品、サービスの価格については、テキサス人的資源コードに基づき、テキサス労働力委員会が公正な市場価格（Fair Market Price）を決定することになっている³⁴⁾。

(6) 最低賃金について

テキサス州は、テキサス最低賃金法に基づき、基本的に米国連邦政府が定める時間当たり最低賃金を適用しており、2023年2月時点で7.25ドルとなっている³⁵⁾。米国では障害

者に支払う最低賃金について、Section 14(c) of the Fair Labor Standards Act (29 USC 214(c))に基づき、米国労働省から認証 (Certificate) を得ることにより、連邦最低賃金以下の時間当たり最低賃金、すなわち、最低賃金を下回る賃金 (Subminimum Wage) が認められている³⁶⁾。2019年のテキサス州議会において、WorksWonders プログラムに参加している CRP の賃金要件に関する法案 (Senate Bill 753) が可決されたことにより、テキサス人的資源コードが改正され、最低賃金を下回る賃金を支払っている CRP は 2022 年 9 月 1 日までに連邦最低賃金を下回らない賃金を支払うことが求められることとなった³⁷⁾。また、この法案には、最低賃金を下回る賃金を支払っている CRP がこの要件を満たすことができるよう移行プランの策定に向けてテキサス労働力委員会が支援することが含まれていた。実際にテキサス労働力委員会はこうした CRP の移行・維持プラン策定の支援を行い、その結果として、2022 年度当初において、WorksWonders プログラムに参加している CRP の中で最低賃金を下回る賃金を支払っている CRP は 1 つのみとなっており、2023 年度の第 1 四半期までには、この CRP についてもすべての従業員に対して連邦最低賃金もしくはそれ以上の賃金に引き上げる予定となっていることが報告されている³⁸⁾。表 1 は、WorksWonders プログラムに参加している CRP で雇用されているすべての障害者数と、そのうち最低賃金以上の賃金が支払われている人数と最低賃金未満の賃金が支払われている人数を示している。2022 年度において WorksWonders プログラムにより CRP で雇用されている障害者数は 6,396 人となっており、2020 年度以降、最低賃金未満の賃金を支払われている人数が減少していることが確認できる。2022 年度において最低賃金未満の賃金を支払われている人数は 35 人であり、全体の WorksWonders プログラムによる障害者雇用数の約 0.5%となっている。

表 1. WorksWonders プログラムにより CRP で雇用されている障害者数と賃金

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
WorksWonders プログラムに基づき雇用されている障害者数 (人)	5,475	6,517	6,396
最低賃金以上を支払われている人	5,390	6,445	6,361
最低賃金未満を支払われている人	85	72	35

(出所) Texas Workforce Commission “2020 Texas Workforce Supplemental Report”, p.47, “Supplemental Report 2021”, p.48 および“Supplemental Annual Report 2022”, p.47
に基づき筆者作成

なお、最低賃金未満の賃金を障害者に支払っていた CRP が具体的にどのような移行・維持プランを策定したかについては、文書として公表されていないが、上記の通り、2019 年に法案が可決されたことにより、合わせて改正されたテキサス管理コードは、最低賃金を連邦最低賃金かそれ以上に引き上げる戦略として、①CRP が価格と付加価値の調整のために業務評価を行うことにおいて価格引き上げを検討する、②最低賃金未満の賃金を受け取っている障害者に対して雇用機会確保のために、新たな業務を展開するにあたって WorkQuest の支援を求める、③取り扱い品目を拡大し、障害者の賃金を引き上げるために事業連携を追求することについて移行・維持プランに記述をすることを該当する CRP に求

めている³⁹⁾。

Ⅲ. 考察と日本への示唆

これまで述べてきたテキサス州の「障害者から購入するプログラム (Texas Purchasing from People with Disabilities (TPPD))」、すなわち、WorksWonders プログラムの仕組みを簡潔に整理すると次の通りである。まず、テキサス州政府機関にとっては、本プログラムによって提供される物品とサービスを購入することは、原則として義務であり、競争入札の手続きは免除される。テキサス州内の郡、市、学区などについては、義務ではないが購入を奨励されている。テキサス州政府機関であるテキサス労働力委員会が中央非営利組織として WorkQuest (以前の名称は TIBH Industries, Inc.) と契約し、WorkQuest に本プログラムの日々の運営と管理を任せている。障害者はコミュニティ・リハビリテーション・プログラム (Community Rehabilitation Program (CRP)) と呼ばれる非営利組織に雇用され、物品を作るもしくはサービスを提供することにより働いている。多くの CRP では、障害者に対する職業リハビリテーションと再就職支援が行われている。本プログラムは障害者に CRP での雇用を提供するだけでなく、最終的に外部の競争的統合雇用につながることを目的としている。障害者を雇用し、物品をつくるもしくはサービスを提供している CRP と CRP で雇用されている障害者による製品とサービスの購入者であるテキサス州政府機関等とをつなぐ、いわばリエゾンの役割を担っているのが、WorkQuest である。WorkQuest は購入者の製品やサービスに関する個別の要求についても対応すべく CRP と調整を行う。WorkQuest はテキサス労働力委員会とともに CRP への金銭的および職業訓練の支援も行っている。CRP で作られる各物品とサービスの価格については、市場での同様の物品やサービス価格と比較しつつ、「公正な市場価格」をテキサス労働力委員会が決定することとなっている。2019年にテキサス州議会で可決された州法により、本プログラムに参加している CRP は雇用しているすべて障害者に時間当たり最低賃金 7.25 ドルかそれ以上の賃金を支払わなければならないとなったが、2022年度において 120 の CRP のうち、1つの CRP のみまだ実施できていないが、2023年度第1四半期までにはこの CRP も最低賃金の要件を満たす予定とのことである。

連邦制である米国の一つの州の障害者優先調達の実施と国の法律に基づいて実施されている日本の地方自治体の障害者優先調達は制度が大きく異なるため、単純な比較は難しいが、それでもテキサス州の「障害者から購入するプログラム」、すなわち、WorksWonders プログラムから日本の地方自治体の障害者優先調達の取り組みに示唆されることは次の通りである。

まず、日本の障害者優先調達推進法における国や地方自治体等による障害者就労施設等からの優先調達は努力義務にとどまっているが、WorksWonders プログラムは、障害者によって作られる製品や提供されるサービスについて例外基準に基づき外部の事業者から購入することは認められているものの、テキサス州政府機関にとって購入は任意ではなく、原則として義務付けられている。上記の通り、テキサス州政府機関が必要な物品やサービスがあれば、まず、WorkQuest のカタログを確認することが必要となっている。この原則としての義務付けは優先調達という意味において極めて重要と考えられる。任意であれば、

第一選択肢として障害者就労施設等の製品やサービスを購入する強いインセンティブが存在するとは考え難いためである。ただし、日本においても、大阪府にある箕面市がチェックシートを用いた独自の方法で障害者就労施設等から優先調達を確実にを行う仕組みを設定している⁴⁰⁾。このテキサス州の WorksWonders プログラムにおける例外基準の明確化と義務付けおよび、現行の日本の障害者優先調達制度の枠内において独自の工夫をし、障害者優先調達を実質化している箕面市の取り組みを踏まえ、障害者優先調達の観点からは障害者による製品やサービスを第一選択肢とするための制度上の仕組みがあった方がよいと考えられる。

2点目として、WorksWonders プログラムにおいて決定的に重要な役割を果たしているのが中央非営利機関の WorkQuest である。上で述べたように、WorkQuest は障害者が作成・提供する製品とサービスの需要側と供給側をつなぐ重要な機関である。障害者を雇用している非営利組織の CRP の製品やサービスを購入するテキサス州政府機関等からの発注の窓口となっている点は、日本における障害者就労施設等の共同受注窓口と同様である。個別のテキサス州政府機関等の要望を受け、それに応じカスタマイズした製品やサービスを提供できるように個々の CRP と調整を行う。日本における共同受注窓口と異なる点は、こうした州政府機関の購入は、上述の通り例外条件はあるものの、基本的に義務付けられているため、WorkQuest がすべてのテキサス州政府機関からの発注の唯一の窓口となっていることである。需要量と供給量の調整および、さらに購入者側の満足度を高める品質向上などへの対応も行っていることも注目に値する。上でテキサス州立大学による第三者機関としての製品の質のテストについて述べたが、WorkQuest のウェブサイトには WorkQuest のポリシーとして、「私たちはメンバーCRP によって提供される製品とサービスの質と信頼性を非常に重視している。すべての私たちの製品とサービスがあらゆる面において100%の満足を与えることを完全に保証している。もし何かあなた方の期待にそぐわないことがある場合、私たちはあなた方の不満の原因を修正するために必要とされるどのようなことも行う」と明記している⁴¹⁾。日本においても、量的な観点だけでなく、障害者就労施設等から提供される製品とサービスについて、購入者側の意見を聞き、それを質の向上につなげるさらなる仕組みと支援が求められるだろう。

3点目として、客観的事実とデータの公表により、透明性が高いことが挙げられる。まず、公表のレポート形式の変更はあるものの、WorksWonders プログラムに関して、毎年度テキサス労働力委員会によるアニュアル・レポートが公表されている。上述した職業リハビリテーションと再就職支援を実施している CRP の数や競争的統合雇用への再就職人数をはじめ、本稿では示さなかったが、WorksWonders プログラムに関する少なくとも2016年度以降の各年度のアニュアル・レポートには、本プログラムに参加している CRP に雇用されているすべての障害者について障害の種類ごとの人数、WorksWonders プログラムに参加しているすべての CRP 名とその契約製品・サービスと契約額、各 CRP が雇用している障害者数など非常に詳細なデータが含まれており、毎年度のこうしたデータに基づき、経年比較・分析も可能となっている。日本においては、自治体によって情報公開の度合いは異なるが、障害者優先調達推進法に基づき、毎年度、各地方自治体は障害者就労施設等からの優先調達方針を定め、当該年度終了後に優先調達実績を公表している。ただし、優先調達の取り組みに関する詳細および優先調達の結果、その自治体の障害者就労施設等で働

いている障害者にどのようなポジティブな効果を及ぼしたかについては調達実績の報告からはわからない状況である。

4点目として、WorksWondersプログラムを通じて、競争的統合雇用すなわち、外部の民間企業への再就職を目指していることが明確にされていることである。また、このために、WorkQuestはCRPに金銭的支援を行い、テキサス労働力委員会とともにCRPに職業訓練に関する支援を行っている。日本においても、障害者優先調達推進法の第一条に「(中略)障害者就労施設等が供給する物品及び役務に対する需要の増進等を図り、もって障害者就労施設等で就労する障害者、在宅就労障害者等の自立の促進に資することを目的とする」⁴²⁾と記述されている。自治体によって異なるが、各地方自治体において障害者への職業訓練、能力開発に向けての委託訓練事業等が行われている。障害者就労施設等からの優先調達と職業訓練が分けて取り組まれている側面が強いが、「障害者就労施設等で就労する障害者、在宅就労障害者等の自立の促進に資することを目的とする」としているからには、優先調達と職業訓練をより密接な連携関係に位置づけることも一つの方向性と考えられる。その一例として、多機能型事業所への支援の強化が挙げられる。

最後に、WorksWondersプログラムに参加しているほぼすべてのCRPで雇用されている障害者は最低賃金もしくはそれ以上の賃金が支払われていることは、日本の就労継続支援B型事業所の2021年度の平均工賃が月額16,507円、時間額233円⁴³⁾である現状からすると驚くべきことかつ非常に興味深い。ただし、その実現のための取り組みの詳細については今後の調査課題としたい。

[注]

- 1) 厚生労働省ホームページ「障害者優先調達推進法が施行されました」
- 2) McCrudden, Christopher, *Buying Social Justice*, Oxford University Press, 2007, p.4.
- 3) 岸 道雄「米国アビリティワン・プログラムによる障害者優先調達の仕組みと現状」『政策科学』27巻3号、立命館大学政策科学会、2020年、303頁
- 4) 同上
- 5) Krepcio, Kathy and Agrawal, Jui, “Advancing Economic Opportunities for Business Owners and Jobseekers with Disabilities: A Review of State and Municipal Government Contracting Procurement and Tax Incentive Programs for Disability-Owned Businesses”, Employer Assistance and Resource Network, 2013, p.7.
- 6) State Use Programs Association (SUPRA) HP “Our Mission & Vision”
- 7) National Council on Disability, “National Disability Employment Policy, From the New Deal to the Real Deal: Joining the Industries of the Future” 2018, p.52.
- 8) たとえば、ニューヨーク州において、服役囚による製品の優先調達プログラムは「Corcraft」という名称であり、服役囚による製品の製作を通じて、職業訓練と雇用を提供しており、約300種類の製品は、ニューヨーク州政府機関、州内の地方政府機関、公立学校・大学、非営利慈善団体によってのみ購入されることになっている (New York State Office of General Service “List of Preferred Source Offerings”, 2022, p.2.)。
- 9) Krepcio K. and Agrawal J. (2013) P.7.
- 10) Texas Workforce Commission, “Supplemental Annual Report 2022”, p.31. なお、本プログラ

ムにおける中央非営利組織である WorkQuest ホームページおよび、テキサス労働力委員会によるアニュアル・レポートにおいて、WorksWonders プログラムという名称が広く用いられているため、本稿でも以下 WorksWonders プログラムの名称を基本的に使用することとする。

11) Texas Workforce Commission HP “Purchasing from People with Disabilities”

12) Texas Human Resources Code, Title 8, Chapter 122, Sec. 122.001.

13) Davis, R., Kouliavtsev, M., and Scanlan M.” ECONOMIC IMPACT OF THE PURCHASING FROM PEOPLE WITH DISABILITIES PROGRAM ON TEXAS Analysis of Contributions, Costs, and Effectiveness of the State Use Program on the Texas Economy”, Department of Economics and Finance Stephen F. Austin State University, 2022, p.10.および Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities WorksWonders Program 2017 Annual Report”, p.6.なお、米国労働省 Office of Disability Employment Policy のウェブサイトによると、Competitive Integrated Employment とは、障害者に最低賃金以上の賃金で、同様の義務と同様の訓練と経験を持つ健常者に支払われる賃金と匹敵する賃金が支払われる、同様の職位にある健常者が受給する手当（benefits）と同水準の手当を障害者も受給している、障害者と健常者が相互に関わり合う職場である、同様の職位にある健常者と同様の昇進の機会が障害者にも提供される雇用であるとしている（U.S. Department of Labor Office of Disability Employment Policy HP “Competitive Integrated Employment (CIE)”。

14) Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities WorksWonders Program 2017 Annual Report”, p.1. なお、2018 年にこの中央非営利機関の名称は、TIBH Industries, Inc.から WorkQuest に変更されて現在に至っている。

15) 同上

16) Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities WorksWonders Program 2017 Annual Report”, pp.2-3.および Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities WorksWonders Program 2018 Annual Report”, p.1.

17) Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities WorksWonders Program 2018 Annual Report”, p.2.なお、このページには、5 点目として、サンセット（一定の期間後の廃止）助言委員会が見直しを行うことが記述されているが、現行のテキサス州人的資本コード（Human Resources Code）Title8, Sec. 122.0012 において、サンセット条項は 2019 年に削除されたことが示されている。

18) Texas Workforce Commission, “Supplemental Report 2021”, pp.27-28.

19) 同上、p.27.

20) Texas Human Resources Code Title 8, Chapter 122, Sec. 122.019.

21) WorkQuset “State Use WorksWonders Program Purchaser’s Guide”, 2020, p.3.

22) Texas Workforce Commission, “Supplemental Report 2021”, p.30.

23) Texas Workforce Commission, “2020 Texas Workforce Supplemental Report to the 86th Legislature”, p.23.

24) 同上

25) Texas Human Resources Code Title 8, Chapter 122, Sec. 122.002.

26) Texas Administrative Code Title 40, Chapter 806, Sec. 806.41.

- 27) 岸 (2020)、308 頁。なお、テキサス州の WorksWonders プログラムはアビリティワン・プログラムと異なり、本文に記述したように、現在はすべての種類の障害者が本プログラムの対象となっている。
- 28) Texas Workforce Commission, “Supplemental Report 2021”, p.30.
- 29) Texas Workforce Commission, “Supplemental Report 2021”, p.30 および、Texas Workforce Commission, “Supplemental Annual Report 2022”, p.32.なお、2021 年度において、WorksWonders プログラムに参加した 119 の CRP のうち、7 つの CRP が職業リハビリテーションと再就職支援を行っておらず、17 の CRP は WorksWonders プログラムの契約に基づいて働く障害者がいなかったため、データを求めているとしている。同様に、2022 年度においては、120 の CRP のうち、19 の CRP が職業リハビリテーションと再就職支援を行っておらず、19 の CRP は WorksWonders プログラムの契約に基づいて働く障害者がいなかったため、データを求めているとしている。なお、テキサス州の財政年度は、9 月 1 日から翌年の 8 月 31 日までであるが、Texas Workforce Commission の WorksWonders に関する Annual Report に関しては、7 月 1 日から翌年 6 月 30 日までを財政年度としている。たとえば、Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities WorksWonders Program 2017 Annual Report”の目次のページの下部において、「ここで示しているすべてのデータは 2016 年 7 月 1 日から 2017 年 6 月 30 日までの財政年度のもの (All information presented herein is for the fiscal year July 1, 2016, through June 30, 2017)」と記述されている。
- 30) Texas Workforce Commission, “Supplemental Report 2021”, p.30.
- 31) Texas Workforce Commission, “Supplemental Report 2021”, p.49 および、Texas Workforce Commission, “Supplemental Annual Report 2022”, p.48. ちなみに、2021 年度の 1,024 人のうち、外部の競争的統合雇用に再就職した人が 852 人、CRP 内で昇進し、WorksWonders プログラムの直接労働から外れた人が 172 人、同様に 2022 年度において 905 人のうち、外部の競争的統合雇用に再就職した人が 723 人、CRP 内で昇進し、WorksWonders プログラムの直接労働から外れた人が 182 人となっている (Texas Workforce Commission, “Supplemental Report 2021”, p.49 および、Texas Workforce Commission, “Supplemental Annual Report 2022”, p.48)。
- 32) WorkQuest HP “WorkQuest Online Catalog”
- 33) Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities” Program Brochure, 2020, p.4.
- 34) Texas Human Resources Code Title 8, Chapter 122, Sec. 122.007.
- 35) Texas Workforce Commission HP “Texas Minimum Wage Law”
- 36) U.S. Department of Labor HP “Subminimum Wage”
- 37) Texas Workforce Commission, “Supplemental Annual Report 2022”, p.34 および Texas Human Resources Code Title 8, Chapter 122, Sec. 122.0075.ただし、2022 年 3 月 1 日までに一定の条件のもと、CRP の申し出により連邦最低賃金に賃金を引き上げることを延期する例外措置も認められていた。
- 38) Texas Workforce Commission, “Supplemental Annual Report 2022”, p.34.
- 39) Texas Administrative Code Title 40, Chapter 806, Sec. 806.101.
- 40) 箕面市「障害者就労事業所等からの物品等の優先調達の推進について」2022 年による

と、事務の流れとして、「① 物品等の調達時に「障害者就労事業所への発注可否」を必ず確認してください。② 障害者就労事業所等から調達できない場合に限り、「障害者優先調達チェックシート」を使用します。③ 「障害者優先調達チェックシート」は、各室（課）長等が必ず確認します」（6 頁）としている。また、「令和 4 年度箕面市における障害者事業所等からの物品等の優先調達推進方針」2021 年において、「各部局室の政策調整室及び障害福祉室は、チェックシートの確認等により適切な優先調達が実施されているかを確認する。確認の結果、適切な調達を実施していない場合は、担当者等の福祉体験学習への参加等を実施する」「会計室は、チェックシートを確認した結果、優先調達が適切に実施されていないと判断したときは、当該支出命令の支出を行わない」（2 頁）としている。

41) WorkQuest HP “About WorkQuest”

42) e-GOV 法令検索ウェブサイト「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」

43) 厚生労働省「令和 3 年度工賃（賃金）の実績について」2022 年

[参考文献・資料]

和文

e-GOV 法令検索ウェブサイト「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」

<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=424AC1000000050_20210901_503AC0000000036>
(2023 年 2 月 9 日最終アクセス)

岸 道雄「米国アビリティワン・プログラムによる障害者優先調達の仕組みと現状」

『政策科学』27 卷 3 号、立命館大学政策科学会、2020 年

<https://ritsume.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_action_common_download&item_id=13147&item_no=1&attribute_id=22&file_no=1&page_id=13&block_id=21> (2023 年 2 月 9 日最終アクセス)

厚生労働省ホームページ「障害者優先調達推進法が施行されました」

<<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000052423.html>>
(2023 年 2 月 9 日最終アクセス)

厚生労働省「令和 3 年度工賃（賃金）の実績について」2022 年

<<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001042285.pdf>>(2023 年 2 月 9 日最終アクセス)

箕面市「障害者就労事業所等からの物品等の優先調達の推進について」2022 年

<<https://www.city.minoh.lg.jp/syougai/fukushi/documents/suisinnnituite.pdf>>
(2023 年 2 月 9 日最終アクセス)

箕面市「令和 4 年度箕面市における障害者事業所等からの物品等の優先調達推進方針」

2021 年

<<https://www.city.minoh.lg.jp/syougai/fukushi/documents/r4yuusentyoutatusuisinnhousin2.pdf>>
(2023 年 2 月 9 日最終アクセス)

英文

Davis, R., Kouliavtsev, M., and Scanlan M.” ECONOMIC IMPACT OF THE PURCHASING FROM PEOPLE WITH DISABILITIES PROGRAM ON TEXAS Analysis of Contributions, Costs, and

Effectiveness of the State Use Program on the Texas Economy”, Department of Economics and Finance Stephen F. Austin State University, 2022.

<<https://www.sfasu.edu/docs/economics-finance/economic-impact-study-texas-workforce-commission-2022.pdf>> (2023年2月9日最終アクセス)

Krepcio, Kathy and Agrawal, Jui, “Advancing Economic Opportunities for Business Owners and Jobseekers with Disabilities: A Review of State and Municipal Government Contracting Procurement and Tax Incentive Programs for Disability-Owned Businesses”, Employer Assistance and Resource Network, 2013.

McCrudden, Christopher, *Buying Social Justice*, Oxford University Press, 2007.

National Council on Disability, “National Disability Employment Policy, From the New Deal to the Real Deal: Joining the Industries of the Future” 2018.

<https://ncd.gov/sites/default/files/Documents/NCD_Deal_Report_508.pdf>
(2023年2月9日最終アクセス)

New York State Office of General Service “List of Preferred Source Offerings”, 2022.

<<https://ogs.ny.gov/system/files/documents/2022/12/the-list-of-preferred-source-offerings.pdf>>
(2023年2月9日最終アクセス)

State Use Program Association (SUPRA) HP “Our Mission & Vision”

<<https://supra.cc/mission-vision/>> (2023年2月9日最終アクセス)

Texas Administrative Code Title 40, Chapter 806.

<[https://texreg.sos.state.tx.us/public/readtac\\$ext.TacPage?sl=R&app=9&p_dir=&p_rloc=&p_tloc=&p_ploc=&pg=1&p_tac=&ti=40&pt=20&ch=806&rl=41](https://texreg.sos.state.tx.us/public/readtac$ext.TacPage?sl=R&app=9&p_dir=&p_rloc=&p_tloc=&p_ploc=&pg=1&p_tac=&ti=40&pt=20&ch=806&rl=41)>
(2023年2月9日最終アクセス)

Texas Human Resources Code, Title 8, Chapter 122.

<<https://statutes.capitol.texas.gov/Docs/HR/htm/HR.122.htm#122.017>>
(2023年2月9日最終アクセス)

Texas Workforce Commission HP “Purchasing from People with Disabilities”

<<https://www.twc.texas.gov/purchasing-people-disabilities>>
(2023年2月9日最終アクセス)

Texas Workforce Commission, “Supplemental Report 2021”

<<https://www.twc.texas.gov/files/twc/2021-twc-supplemental-annual-report-twc.pdf>>
(2023年2月9日最終アクセス)

Texas Workforce Commission, “Supplemental Annual Report 2022”.

<<https://www.twc.texas.gov/files/twc/2022-twc-supplemental-annual-report-twc.pdf>>
(2023年2月9日最終アクセス)

Texas Workforce Commission HP “Texas Minimum Wage Law”

<<https://www.twc.texas.gov/jobseekers/texas-minimum-wage-law#:~:text=Return%20to%20Top-,Current%20Minimum%20Wage,employers%20for%20a%20higher%20wage.>>
(2023年2月9日最終アクセス)

Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities” Program Brochure, 2020.

<<https://www.twc.texas.gov/files/agency/ppd-program-brochure-twc.pdf>>

(2023年2月9日最終アクセス)

Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities WorksWonders Program 2017 Annual Report”

<<https://www.twc.texas.gov/files/news/workswonders-annual-report-2017-twc.pdf>>

(2023年2月9日最終アクセス)

Texas Workforce Commission, “Texas Purchasing from People with Disabilities WorksWonders Program 2018 Annual Report”.

<<https://www.twc.texas.gov/files/news/workswonders-annual-report-2018-twc.pdf>>

(2023年2月9日最終アクセス)

Texas Workforce Commission, “2020 Texas Workforce Supplemental Report to the 86th Legislature”

<<https://www.twc.texas.gov/files/twc/2020-twc-supplemental-annual-report-twc.pdf>>

(2023年2月9日最終アクセス)

U.S. Department of Labor Office of Disability Employment Policy HP “Competitive Integrated Employment (CIE)”

<<https://www.dol.gov/agencies/odep/program-areas/integrated-employment>>

(2023年2月9日最終アクセス)

U.S. Department of Labor HP “Subminimum Wage”

<<https://www.dol.gov/agencies/whd/special-employment>> (2023年2月9日最終アクセス)

WorkQuest HP “About WorkQuest”

<<https://workquest.com/about/>> (2023年2月9日最終アクセス)

WorkQuset “State Use WorksWonders Program Purchaser’s Guide”, 2020.

<https://workquest.com/wp-content/uploads/2020-V12A_PurchasersGuidePacket.pdf>

(2023年2月9日最終アクセス)

WorkQuest HP “WorkQuest Online Catalog”

<<https://catalog.workquest.com/>> (2023年2月9日最終アクセス)

Current Situation of Preferential Procurement for People with Disabilities in Texas, U.S.A.

Michio Kishi

Abstract:

The state of Texas in the U.S.A. has a long history of preferential procurement for people with disabilities, which started in 1978 and continues to this day. It is called the Purchasing from People with Disabilities program or the WorksWonders program. It is mandatory in principle for Texas state agencies to purchase products and services provided by people with disabilities who are employed by non-profit organizations called community rehabilitation programs without going through competitive bidding procedures. Through this program, many people with disabilities are re-employed in external competitive integrated employment, and Japan can obtain several suggestions from this program on how preferential procurement for people with disabilities should be in this country.

Keywords: Texas, people with disabilities, WorksWonders